

令和6年7月1日(月)

9:30~9:50

# 令和6年度 兵庫県相談支援従事者現任研修

～研修受講ガイダンス～

社会福祉法人養徳会  
医療福祉センターのぎく

主任相談支援専門員 中川 和也

## 【この時間のゴール】

◎研修の目的、全体の流れ等の確認し、研修を受講する準備を整えます。

# 本研修の目的

## 【目的】

初任者研修で学んだ相談支援の基本や本人を中心としたソーシャルワークが実践できているかなど日常の相談支援業務の検証を行うことにより、相談支援に従事する者の資質の向上を図る。

## 【checkポイント】

※相談支援の基本（初任者研修で扱った価値・知識・技術）

- ① 相談支援（個別）の基本を理解し、それを基盤とした実践を行うことができる。
- ② チームアプローチ(多職種連携)の理論と方法を理解し、実践することができる。
- ③ コミュニティワーク（地域とのつながりやインフォーマルの活用等）の理論と方法を理解し、実践することができる。
- ④ スーパービジョンの理論と方法を理解するとともに、実践事例を用いてグループスーパービジョンを体験することで、自らの支援について助言・指導を受けることの重要性を理解する。

相談支援専門員に求められる  
期待される役割とは・・・

# 相談支援専門員の業務遂行に必要な力？

(初任者研修で扱う相談支援の基本 (価値・知識・技術) とは

- 価値 = 『相談支援を行う上で、大切にすべきこと』
- 知識 = 『相談支援を行う上で、知っておくべきこと』
- 技術 = 『相談支援を行う上で、身に付けておくべきこと』



## ■ 価値

相談支援を行う上で大切、大切にすべきこと

- ✓ 個別性の重視
- ✓ 本人主体、本人中心
- ✓ エンパワメント，リカバリーの視点、ストレングスへの着目
- ✓ 自己決定（意思決定）への支援、セルフケアマネジメントの支援
- ✓ 多職種連携・チームアプローチ
- ✓ 地域づくり（コミュニティワーク）、スティグマへのアプローチ
- ✓ 生活者の視点、QOLの重視
- ✓ 権利擁護

## ■ 知識

相談支援を行う上で、知っておくべきこと

- ✓ 医学モデルと社会モデルの双方の視点の知識  
医：障害特性の知識      社：制度や地域の資源等に関する知識

## ■ 技術

相談支援を行う上で、身に付けておくべきこと

- ✓ ケースワーク、グループワーク、コミュニティワークの技術  
⇒ これら3つを統合して実践（ジェネラリスト・ソーシャルワーク）
- ✓ 面接や記録の技能

# 相談支援専門員の業務遂行に必要な力

(※初任者研修で扱う相談支援の基本(価値・知識・技術)とは)

価値	『相談支援を行う上で、大切にすべきこと』 ①個別性の重視 ②生活者視点、QOLの重視 ③本人主体、本人中心 ④自己決定(意思決定)への支援、セルフケアマネジメントの支援⑤エンパワメント、リカバリーの視点、ストレングスへの着目 ⑥権利擁護 ⑦多職種連携・チームアプローチ ⑧地域づくり(コミュニティワーク)、スティグマへのアプローチ
知識	『相談支援を行う上で、知っておくべきこと』 ●医学モデルと社会モデルの双方の視点の知識 医：障害特性の知識 社：制度や地域の資源等に関する知識
技術	『相談支援を行う上で、身に付けておくべきこと』 ●ケースワーク、グループワーク、コミュニティワークの技術⇒これら3つを統合して実践(ジェネラリスト・ソーシャルワーク) ●面接や記録の技能

今一度、ここをおさえておきましょう！！



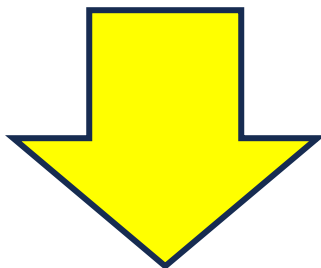
## 地域を基盤としたソーシャルワーカーとは

相談支援専門員とは

⇒ **【地域を基盤としたソーシャルワーカー】** として働く人たち

地域を基盤としたソーシャルワークの定義

⇒ **【個を地域で支える援助】** と **【個を支える地域をつくる援助】** を一体的に推進することを基調とした実践



- ・意思決定支援
- ・多職種連携/チームアプローチ
- ・グループスーパービジョン



個を地域で支える援助  
(サービスで支える)



- ・コミュニティワーク
- ・自立支援協議会活用する



個を支える地域を作る援助  
(インフォーマル資源で支える)

一体的 (同時並行的) に実施

# 地域を基盤としたソーシャルワークの理念

**【本人を中心とし、個々に合わせた援助システムによって援助を展開する】**

- ✓ 本人を中心とした援助システムに、地域住民等のインフォーマルサポートが積極的に参画する
- ✓ 地域の専門職だけでなく、近隣住民、ボランティア、NPO等によるサポートを活用するという視点

⇒ **これが、個を地域で支える援助だけでなく、個を支える地域をつくる援助への展開、さらには地域福祉の推進へと展開することを可能にする**

岩間伸之（2011）「地域を基盤としたソーシャルワークの特質と機能」  
『ソーシャルワーク研究』37（1）

新カリキュラム：【講義】相談支援の基本的視点（初任）／【講義】コミュニティワーク（現任）

いわゆるサービス以外の方法でも  
本人が住んでいる地域の  
「人、物、場所」の力を活用して、  
本人の生きづらさを解消し、  
安心して暮らせるように支援すること

こういったことが相談支援専門員に求められる、期待される役割となっています。

そのため、現任者研修では・・・

時 間	内 容 ・ 講 師
《講義》	
8:30~9:15	受付
9:15~9:30	事務連絡
9:30~9:50	【ガイダンス】 現任研修の目的について 中川 和也氏（社会福祉法人養徳会 医療福祉センターのぎく）
9:50~11:20	【講義1】 障害福祉の動向について 井川 善博氏（兵庫県福祉部障害福祉課 障害政策班）
11:20~11:30	休憩
11:30~12:30	【講義2】 <u>本人を中心とした相談支援の基本姿勢</u> 後藤 謹武氏（明石市基幹相談支援センター兼障害者虐待防止センター）
12:30~13:30	昼休憩
13:30~14:30	【講義3】 相談支援に求められる <u>チームアプローチ</u> 濱口 直哉氏（社会福祉法人あかりの家 地域支援センターあいあむ）
14:30~14:40	休憩
14:40~15:40	【講義4】 <u>コミュニティソーシャルワークの理論と方法</u> 小口 将典氏（関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学科）
15:40~15:50	休憩
15:50~17:20	【講義5】 人材育成における <u>スーパービジョンの理論と方法</u> 小口 将典氏（関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学科）
17:20~17:30	事務連絡

これらのことに基づき、研修2日目  
から演習をおこなっていきます

# 兵庫県が目指していききたい相談支援専門員

- 障害者支援の仕事の出発点は、あくまでも利用者の「**生きることの困難さ**」である。
- 相談室や支援計画の作成等の業務にとどまるものではない。
- ごく当たり前の人間として生きることの権利の保障にむかってそれを支えることのできる人材を養成していききたい。

出典：一般財団法人兵庫県相談支援ネットワーク

「本人中心支援を実践するために地域を基盤としたソーシャルワークができる人材養成に関する提言書」（令和2年3月）



忘れてはいけないこと

それは 「問題解決の主体は本人」

# 本人中心相談支援の5つの定義

- ① 必要な情報とその経験の広がりへの支援と、本人の自己決定・選択への支援をふまえて、本人の市民としての豊かな選択肢（参加と役割）に基づく希望と目標をアセスメントをし、
- ② それに必要な支援サービスを作り出すために、本人と支援関係者それぞれの役割をふまえた計画（本人中心支援計画）を本人中心計画会議で共に創出し、
- ③ 不足するサービス等については、共に開発及び権利擁護（アドボカシー）等を行い、
- ④ さらに、その後のモニタリングや社会参加・関係の改善・調整等を行う、
- ⑤ 一定の権限と方法と手続きに基づく活動とそのプロセス



自立を  
煽っていませんか？

支援の方向性  
ハンドルを握るのは本人



代行して問題を  
解決していませんか？

自分自身の希望に基づいて、自主的に選択し  
自分の生活を自分で動かす

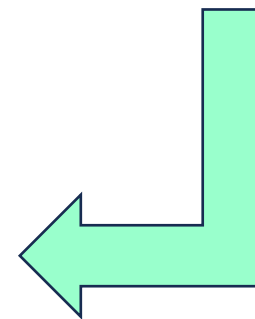
自らで考え

自らで選択し

自らがおこなう

それらができるよ  
う支援する考え方  
やアプローチ

本人中心支援



いわゆる重度の障害があるといわれている方であっても、その人の生きてきた環境や出会ってきた人々によって、いろいろな影響を受け、変化もしながら、充実した暮らしをされている方もいっぱいいらっしゃいます。

だから、少なくとも、支援者が出会った時点において「重度だな」と感じたとしても、勝手にその人の支援計画を作るのではなく、この人は何がしたいのか。どんな意思を持たれているのかなど、考えていく習慣を身につけていただければと思っています。

「さぼーと」2017年10月号『本人中心の視点に立った生き方支援』  
～生活介護から考える今後の本人中心支援の展開～

兵庫県相談支援ネットワーク 玉木 幸則

# 相談支援従事者研修の研修体系

(主任研では)

- ①【**個を地域で支える援助**】を実践している地域の相談支援専門員のサポートの手法を学ぶ
- ②【**個を支える地域をつくる援助**】を実践していくための手法を学ぶ



(現任研では)

- ①【**個を地域で支える援助**】ができているかのふり返りや点検を行う
  - ・意思決定支援
  - ・多職種連携／チームアプローチ
  - ・GSV
- ②【**個を支える地域をつくる援助**】を学ぶ
  - ・コミュニティワーク
  - ・自立支援協議会（活用する）



(初任研では)

【**個を地域で支える援助**】を学ぶ

- ・本人中心
- ・計画相談支援
- ・地域資源の活用
- ・自立支援協議会（知る）
- ・障害者ケアマネジメントのプロセス
- ・相談支援の価値、知識、技術 などなど

初任、現任、主任と研修はすべて連動しています

### 主任研修

【個を地域で支える援助】の実践を積み重ねる

【個を支える地域をつくる援助】についての視点や考え方を定着させる



### 現任研修

自身の【個を地域で支える援助】の実践をふり返り、新たな視点や考え方に触れてバージョンアップ

【個を支える地域をつくる援助】についての視点や考え方を学ぶ



【個を地域で支える援助】の実践を積み重ねる



### 初任者研修

【個を地域で支える援助】が何なのかを理解し、実践できるように、基礎となる部分の研修を行う

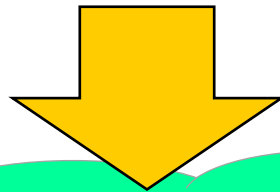


- この研修は特に、受講者みなさんの  
「振り返り」「気づき」「主体性」  
を重視しています。



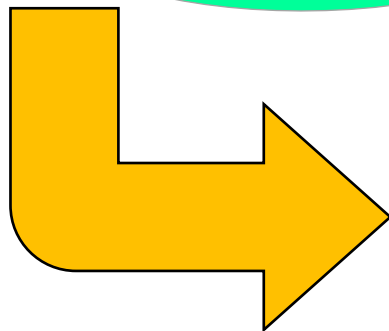
- 経験や立場にとらわれない活発な意見交換が望まれます。そこから、これまでの自分、研修受講後の自分、について考えながら参加してください。

# リフレッシュ&バージョンアップして 元気に職場に戻りましょう！



そのための・・・

出会い・共有・提案・つながり



相談支援専門員としてのスキルアップ  
地域を基盤としたソーシャルワーカー